
令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 実施概要

(1) 実施日 令和3年5月27日(木)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

※ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問われた。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査 (Webによる回答)

※ 新型コロナウイルス感染症の学習面への影響を把握・分析するため、休業中(昨年度)の児童生徒の学習状況・環境等についての調査項目が新たに盛り込まれた。

(4) 実施校数 悉皆調査

	調査対象 学校数	調査実施校	
		27日に調査を 実施した学校数	28日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	217	217	0
義務教育学校(前期課程)	2	2	0
特別支援学校(小学部)	1	1	0
市町立中学校	93	93	0
義務教育学校(後期課程)	2	2	0
県立中学校	3	3	0
特別支援学校(中学部)	4	4	0
公立学校計	322	322	

2 教科に関する調査の結果概要(公立)

○各教科における本県と全国の平均正答数と平均正答率(%)

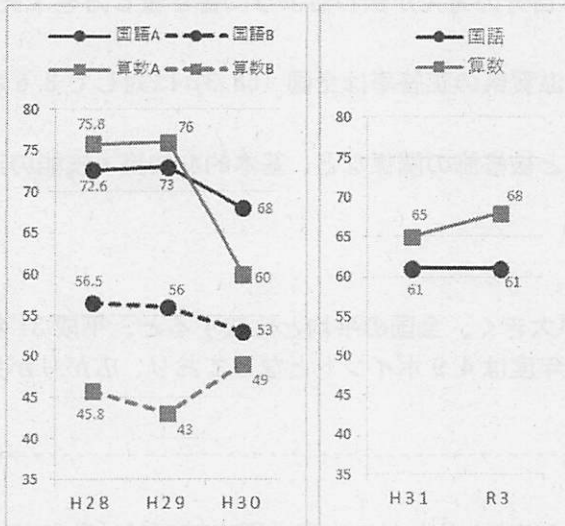
	教科	平均正答数/設問数			平均正答率		
		本県	全国	全国との差	本県	全国	全国との差
小学校	国語	本県	8.6/14	-0.5	本県	61	-3.7
		全国	9.1/14		全国	64.7	
	算数	本県	10.9/16	-0.3	本県	68	-2.2
		全国	11.2/16		全国	70.2	
中学校	国語	本県	8.8/14	-0.2	本県	63	-1.6
		全国	9.0/14		全国	64.6	
	数学	本県	9.0/16	-0.1	本県	56	-1.2
		全国	9.1/16		全国	57.2	

○ 平成 28 年度から令和 3 年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移

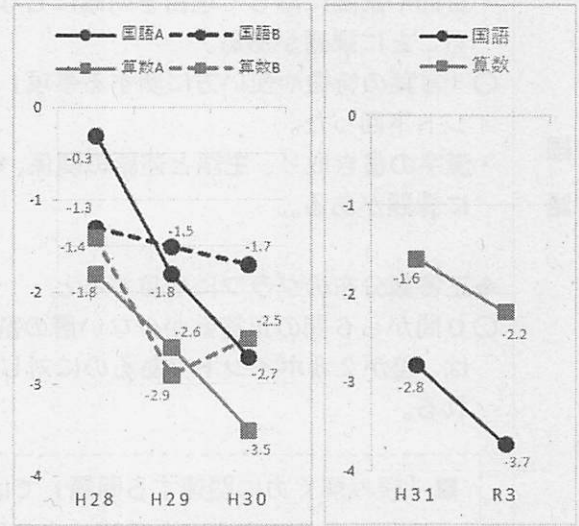
平成 31 年度から、主として「知識」に関する問題（A問題）と、主として「活用」に関する問題（B問題）という区分を見直し、知識・活用が一体的に出題された。令和 2 年度の調査は、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し、実施されなかった。

【小学校】

＜県平均正答率の経年変化＞

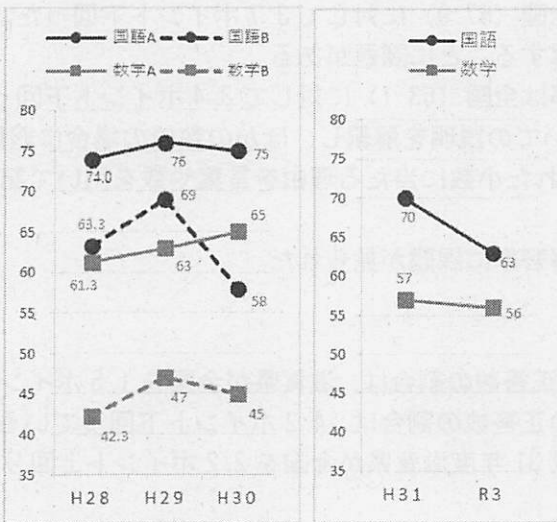


＜全国と県との平均正答率の差＞

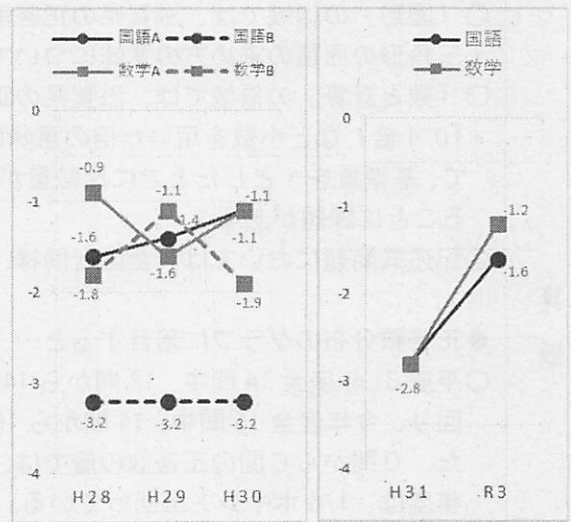


【中学校】

＜県平均正答率の経年変化＞



＜全国と県との平均正答率の差＞



〔全国と県との平均正答率の差のグラフの見方〕

- ・縦軸0を全国平均正答率として、各教科に関する調査結果の本県の平均正答率の差を折れ線で示している。
- ・平成 29 年度から、各都道府県の平均正答率は整数で公表しており、全国平均正答率との差も、その数値により示している。

【小学校】

<p>国 語</p>	<p>◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」の内容では、滋賀県の正答率は全国（47.2）に対して3.5ポイント下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉え、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けたり、目的を意識して、中心となる語や文を見付けてまとめたりすることに課題がある。 ○「書くこと」の内容では、滋賀県の正答率は全国（60.7）を3.6ポイント下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。 ・目的や意図に応じて理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 ○「言葉の特徴や使い方に関する事項」で、滋賀県の正答率は全国（68.3）に対して3.6ポイント下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係など、基本的な知識・技能の活用に課題がある。 <p>◆正答数分布のグラフに着目すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○0問から6問の正答数が少ない層の割合が大きく、全国の平均と比較すると、平成31年度は、差が2.8ポイントであるのに対し、今年度は4.9ポイントとなっており、広がりが見られる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題」では…</p> <p>目的に応じて中心となる語や文を見付けてまとめたり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりすることに課題がある。</p> </div>
<p>算 数</p>	<p>◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「図形」の領域では、滋賀県の正答率は全国（57.9）に対して3.7ポイント下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の求め方の意味について理解することに課題がある。 ○「数と計算」の領域では、滋賀県の正答率は全国（63.1）に対して3.4ポイント下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・「0.4倍」など小数を用いた倍の意味についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。 ○記述式問題においては、全国と同様、無解答率に課題が見られた。 <p>◆正答数分布のグラフに着目すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度全14問中、12問から14問の正答数の割合は、滋賀県が全国を1.5ポイント下回り、今年度全16問中、14問から16問の正答数の割合は、4.2ポイント下回っている。また、0問から6問の正答数の層では、平成31年度滋賀県が全国を2.2ポイント上回り、今年度は、1.6ポイント上回っている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題（「データの活用」の領域）」では…</p> <p>目的に応じて帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみることに課題が見られた。</p> </div>

【中学校】

国 語	<p>◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…</p> <p>○「書くこと」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（57.1）に対して全国平均を3.2ポイント下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。 <p>○「読むこと」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（48.5）に対して全国平均を1.8ポイント下回ったものの、前回と比べると全国平均との差は縮まっており、改善が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。 <p>○記述式の問題の無解答率が、全国と比べて、高い傾向が見られた。</p> <p>○平成30年度小学校第6学年の結果と比べると、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において改善が見られた。</p> <p>◆正答数分布のグラフに着目すると…</p> <p>平成31年度の調査と比較すると、0問から7問の正答数が少ない層の割合は、前回は全国よりも大きい状況であったが、今回は改善が見られた。正答数が多い層（11問から14問）の割合は、全国と比べて小さいままである。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題」では…</p> <p>登場人物の見方や考え方について自分の考えを述べるということを理解し、文章を読んで捉えたことについて自分の考えを形成することに課題がある。</p> </div>
数 学	<p>◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…</p> <p>○「図形」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（49.2）に対して2.2ポイント下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解することに課題がある。 <p>○「関数」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（54.7）に対して1.7ポイント下回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 <p>○「数と式」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（64.5）に対して0.4ポイント下回ったが、前回と比べると3.7ポイント増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄が成り立つ理由を説明することに改善の傾向が見られた。 <p>○「資料の活用」の領域では、滋賀県の平均正答率は全国（54.2）に対して0.4ポイント上回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただし、相対度数の必要性和意味を理解することに課題がある。 <p>○記述式問題においては、全国と同様、無解答率に課題が見られた。</p> <p>○平成30年度小学校第6学年の結果と比べると、「数と式」の領域において改善が見られた。</p> <p>◆正答数分布のグラフに着目すると…</p> <p>○平成31年度の調査と比較すると、0問から6問の正答数が少ない層の割合が減少し、13問から16問の正答数が多い層の割合が増加した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題」では…</p> <p>「図形」の領域において、ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題が見られた。</p> </div>

3 質問紙調査の結果概要

○児童生徒質問紙調査

- ・質問項目数は、小学校 69 項目（昨年度より 2 項目減）、中学校 69 項目（昨年度より 2 項目減）となった。
- ・小中学校ともに去年（令和 2 年）4～5 月頃（新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休業していた時期）に関する質問項目が 4 項目加えられた。

○学校質問紙調査

- ・質問項目数は、小学校 102 項目（昨年度より 27 項目増）、中学校 102 項目（昨年度より 27 項目増）となった。
- ・小中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響を調査するための質問項目が 11 項目加えられた。

(1) 「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」における 3 つの視点の指標項目等

質問項目に対して、4 つの選択肢の中から最も肯定的な回答（「当てはまる」「そう思う」「よく行った」「よくしている」）を選択した割合（%）を示した。

*1 ICT 機器の使用に関する質問項目は、「ほぼ毎日」を選択した割合を示した。

*2 H31 調査の欄に数値のない質問項目は、平成 31 年度に実施されていない。

① 視点 1 「学びを実感できる授業づくり」

質問項目	校種		H31 調査	R3 調査	前回調査との比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	29.8	27.2	-2.6
		全国	33.0	30.3	-2.7
	中	本県	27.3	33.0	+5.7
		全国	29.3	33.5	+4.2
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	22.6	21.9	-0.7
		全国	24.7	23.6	-1.1
	中	本県	14.9	18.7	+3.8
		全国	18.1	21.0	+2.9
5 年生まで〔1, 2 年生のとき〕に受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。*1 [児童生徒質問紙]	小	本県	14.5	12.7	-1.8
		全国	10.4	11.2	+0.8
	中	本県	10.6	10.8	+0.2
		全国	7.0	7.4	+0.4
あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達〔生徒〕と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。*1 *2 [児童生徒質問紙]	小	本県	-	8.7	-
		全国	-	10.0	-
	中	本県	-	7.4	-
		全国	-	9.7	-

② 視点2「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」

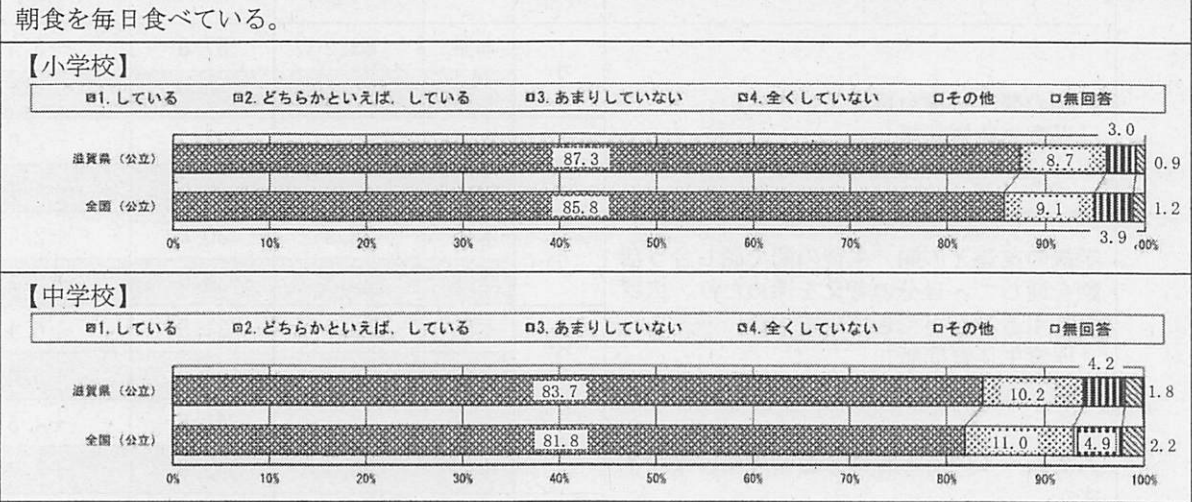
質問項目	校種		H31 調査	R3 調査	前回調査との比較
将来の夢や目標を持っていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	63.2	57.8	-5.4
		全国	65.9	60.2	-5.7
	中	本県	39.2	37.2	-2.0
		全国	44.9	40.5	-4.4
学級の友達との間/生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	28.3	30.8	+2.5
		全国	30.3	33.0	+2.7
	中	本県	25.1	31.5	+6.4
		全国	28.3	33.9	+5.6
人が困っているときは、進んで助けていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	37.1	41.6	+4.5
		全国	40.4	43.6	+3.2
	中	本県	27.8	36.7	+8.9
		全国	34.6	41.6	+7.0
学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか。 ^{*3} [学校質問紙] <small>*3 平成31年度の質問項目は、「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。」であった。</small>	小	本県	46.6	55.0	+8.4
		全国	57.8	62.3	+4.5
	中	本県	56.7	72.5	+15.8
		全国	63.8	75.8	+12.0

③ 視点3「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」

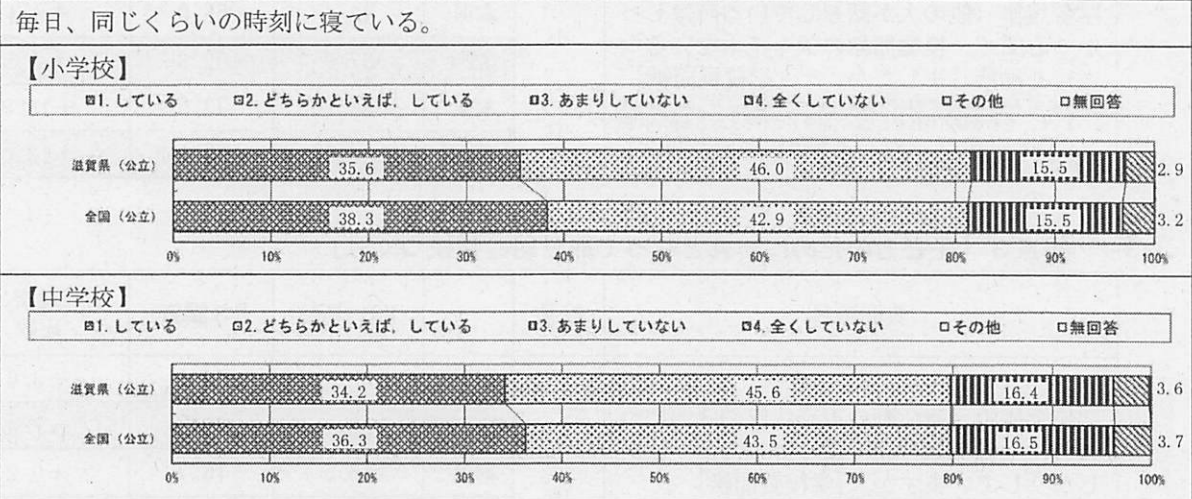
質問項目	校種		H31 調査	R3 調査	前回調査との比較
学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。[学校質問紙]	小	本県	30.5	34.1	+3.6
		全国	38.1	30.7	-7.4
	中	本県	16.5	16.7	+0.2
		全国	27.5	23.5	-4.0
前年度までに、近隣等の小/中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。[学校質問紙]	小	本県	17.0	9.1	-7.9
		全国	22.8	17.0	-5.8
	中	本県	18.6	12.7	-5.9
		全国	26.1	23.5	-2.6
家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。 [学校質問紙]	小	本県	-	41.8	-
		全国	-	40.6	-
	中	本県	-	21.6	-
		全国	-	34.0	-
校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか。 [学校質問紙]	小	本県	49.3	51.8	+2.5
		全国	70.1	61.8	-8.3
	中	本県	56.7	49.0	-7.7
		全国	63.2	54.3	-8.9

(2) 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目 (児童生徒質問紙)

○朝食の摂取

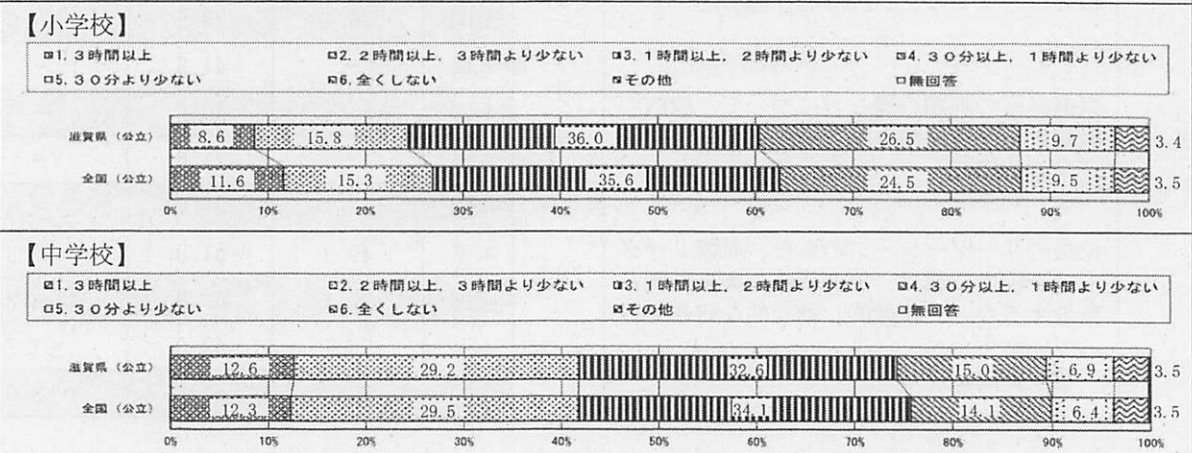


○就寝時刻



○家庭学習の時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含まれます。)

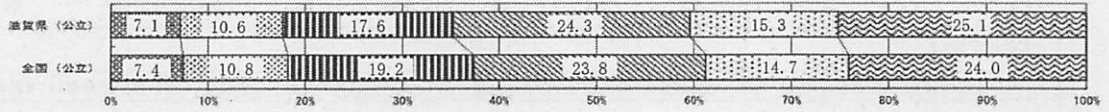


○読書の時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

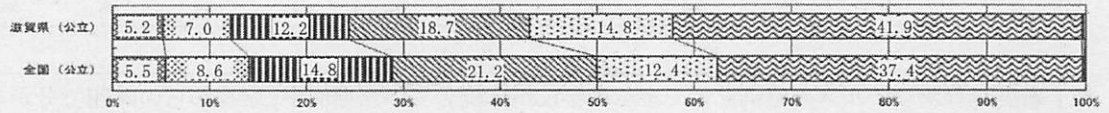
【小学校】

□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない □4. 10分以上、30分より少ない
□5. 10分より少ない □6. 全くしない □その他 □無回答



【中学校】

□1. 2時間以上 □2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない □4. 10分以上、30分より少ない
□5. 10分より少ない □6. 全くしない □その他 □無回答



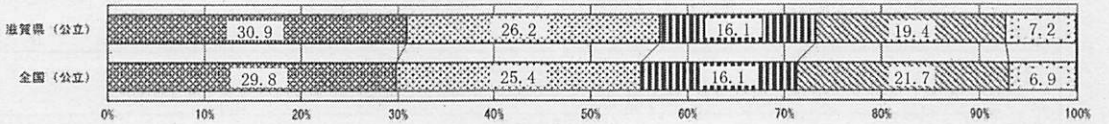
(3) 新型コロナウイルス感染症の学習面への影響に関する質問項目 (児童生徒質問紙)

○新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中

勉強について不安を感じた。

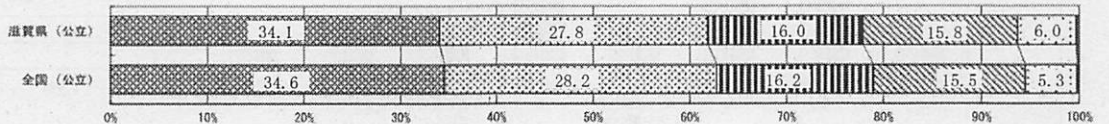
【小学校】

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



【中学校】

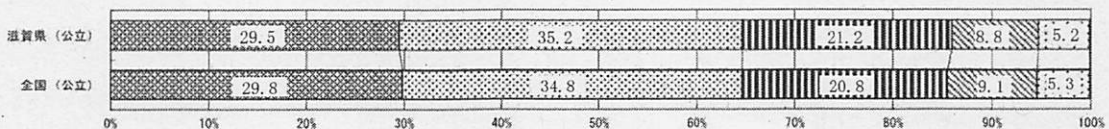
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



計画的に学習を続けることができた。

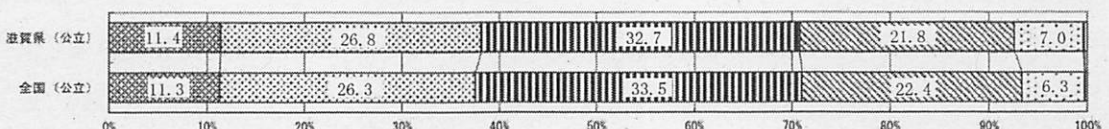
【小学校】

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



【中学校】

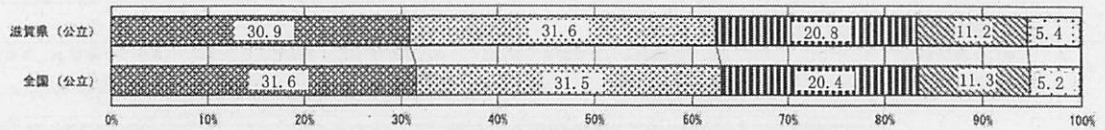
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



規則正しい生活を送っていた。

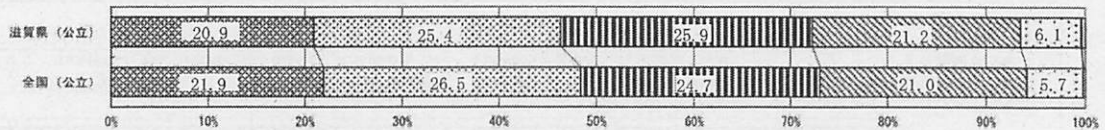
【小学校】

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



【中学校】

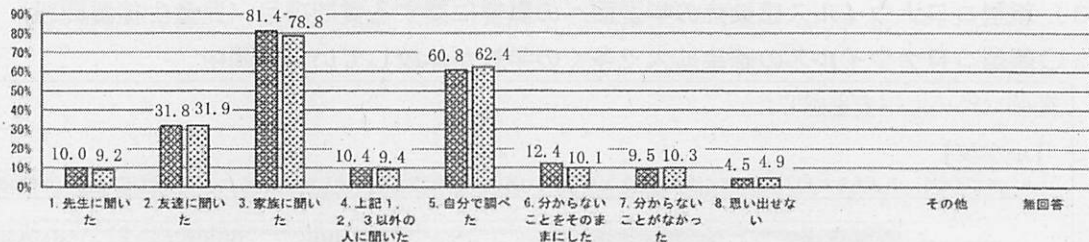
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない □その他 □無回答



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

【小学校】

□滋賀県（公立） □全国（公立）



【中学校】

□滋賀県（公立） □全国（公立）

